

報 告

プログラム懇談会委員会活動報告

幹事 清水留三郎・古山良二・和田英一

○第44回 9月11日 出席者26名

(1) 東京大学電子計算機センターの現状報告

このなつ開設された東大計算センターについて、設置されている計算機、運営の方法、運営の組織、講習の状況、OKITACとPC-2接続の問題など、清水委員の報告があった。

(2) 伊藤忠電子計算センター (Bendix G-20) の現状報告 (資料 32-1)

伊藤忠電子計算センターの丸山氏から Bendix G-20 のシステムデザインと、コンパイラについて、かなり詳細な紹介があった。このうちコンパイラの方式について、たちいった討論があった。

○第45回 10月9日 出席者44名

(1) モニターシステム

前回、高速計算機で使われるモニターシステムのことを懇談したらどうかという提案をしたので、話題をまとめて和田が報告した FORTRAN MONITOR, SHARE MONITOR, CHIEF などはたらき、ビジネス用モニターの構想、さらにわりこみやメモリー保護など、かなものへの要求も簡単にのべた。

(2) CPM PERT について (資料 24-3)

日科技連の四条氏の報告で、PERT (Program Evaluation and Review Technique) と CPM (Critical Path Method) を HIPAC 101 B にプログラムされたのをきいた。前者は、あるプロジェクトの各段階の順と、所要時間があたえられているとき、それぞれの段階の開始と終了の時刻、全体でネックになっている段階などをもとめるもの、後者は各段階での経費、それを突貫工事で行なったときの経費があたえられているとき、総経費を最小にする解をもとめるもので、興味ある話題であった。

○第46回 11月13日 出席者33名

(1) 709/7090 FORTRAN MONITOR SYSTEM (資料 17-2)

前回のモニターシステムにつき、三菱原子力の山下氏から、FORTRAN MONITOR のさらにくわしい紹介があった。とくにデバッグ用ルーティンの説明は、この種のプログラムの必要性が痛感されているだけに、全出席者の興味をひいたようであった。

(2) ヨーロッパ見聞記

IFIP 会議に出席され、欧州を巡遊されてこられた電試の西野委員、日立の高橋委員に会議や展示、そのほか欧州の計算機界、EEC の影響など、なまなまし印象をかたっていた。 (和田英一)

会 告

◎ 研究委員会開催通知

ALGOL 研究会

日時 11月30日 (金)

会場 日本電子工業振興協会

議題 HIPAC-101 B の自動プログラムについて
島内剛一 (立教大)

機械翻訳 研究会

日時 38年1月21日 (月) 14:00—17:00

会場 日本電子工業振興協会

議題 未定

EDPS 研究会

日時 12月14日 (金) 14:00—17:00

会場 日本電子工業振興協会

議題 Multiprogramming 吉田恪郎 (東レ)
Fortran の I/O Buffering
片岡信二 (一橋大)

プログラム懇談会

日時 12月11日 (火) 17:45—20:00

会場 日本科学技術研修所

議題 HITAC-3010 のテーブル演算について
高橋 茂 (日立)

未定

西村真一郎 (IBM)

プログラム懇談会 運営会議

日時 12月13日 (木) 18:00—19:00

場所 日本科学技術研修所

議題 今期の決算と今後の運営について

◎37年度正会員費 (年間1,000円) および賛助会員費 (1口 20,000円) 未納の方は、ぜひご送金ください

◎第3回講演大会 (11月15, 16日開催) の予稿集が少数残っていますので、入用の方は事務局に申し出てください。 (頒価 150円)